

消防だより



9月の広報テーマ
「風水害による事故防止」

119

風水害に対するそなえ

台 風、集中豪雨などの風水害は、毎年のように各地で大きな被害をもたらしています。また、最近では、局地的な突風を伴う竜巻による被害も発生しています。

強い風や大雨などによってもたらされる災害には、洪水、土砂災害、高潮、高波及び突風などがあります。洪水は、主に大雨によって河川があふれ、堤防の決壊などにより水が沿岸地に流れ出て被害を与えるものです。また土砂災害は、大雨によ



って地盤が緩んだことにより、がけ崩れや地すべり、土石流などとなって現れます。高潮については、台風などによって海面が普段以上に大きく持ち上げられ、沿岸に押し寄せるものです。

こうした風水害による被害を最小限にとどめるため、家庭においては、あらかじめ窓や戸の補強をする、非常用品を揃えておく、避難場所を確認しておくなどのほか、常に台風や大雨に関する情報を確認することが大切です。

また、大規模な災害時には、防災関係機関のみでの初動体制が不十分となる場合が想定されますので、地域の人々と連帯感を持ちながら自主的な防災活動に取り組むことが重要となります。

大型食料品店で中越沖地震の支援募金活動実施

洞爺湖町入江4区婦人防火クラブ(高木明美会長)は8月4日(土)、1ウロコ虹田店とAコープとうや湖本店の二カ所で、新潟県中越沖地震で被災した婦人防火クラブの仲間の災害復旧活動を支援し、激励しようと、店舗内募金活動を行いました。

同クラブは2000年有珠山噴火の際、全国の婦人防火クラブの仲間から多くの支援を受けた経緯があり、その返礼の意味を含めて、当日は10名のクラブ員が参加し、営業開始時間から夕方近くまで協力を呼び掛けました。結果、災害支援金44,655円が集まりました。

8月9日には、洞爺湖消防署で、災害支援金の送達式が行われ、高木会長を始めとする役員が出席し、大場優予防課長に見舞金を寄託しました。

高木会長は「募金活動を通して快く募金をして頂いた皆様に感謝と、人の心の温かさに触れることが出来実施して良かった」と募金活動を振り返り、一日も早い復興を願っていました。

た。

なおこの善意は、消防署から「財団法人日本防火協会」に送られることになっています。



募金を渡す入江4区婦人防火クラブのメンバー

統一標語は

「消さないで
あなたの心の 注意火」

fire

7月の

●火災件数 1件
●救急件数 36件



成香の

故中川一太郎さん

旭日單光章受章



賞状を受ける中川ヒロ子さん

7月4日に亡くなった旧洞爺村の元村会議員中川一太郎(成香さん)に旭日單光章が授与されました。

8月20日には、長崎良夫町長が、自宅を訪れ、ヒロ子夫人に賞状と記念品を渡し、生前を偲びました。

中川さんは、昭和54年5月1日から平成3年4月30日まで3期12年旧洞爺村村会議員として地方自治の発展に貢献してきました。

その他農業委員会委員を、10期30年務め、その間会長の重責も担い、農業振興に尽力されてきました。